

令和5年度事業報告書

令和5年4月1日から

令和6年3月31日まで

学校法人 螢池学園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 螢池学園（昭和57年3月31日法人設立）

代表者 理事長 泉 潔

住 所 豊中市螢池西町1丁目11番3号

電 話 06-6843-1234

F A X 06-6843-1254

設置する学校・施設 1. 名 称 認定こども園 螢池文化幼稚園（幼稚園型認定こども園）

住 所 豊中市螢池西町1丁目11番3号

2. 名 称 いずみ保育園（豊中市認可保育園）

住 所 豊中市螢池中町3丁目9番15号

3. 名 称 あっぷるこども園（豊中市認可保育園）

住 所 豊中市螢池中町3丁目8番7号

役 員 理 事 6名

監 事 2名

評議員 12名

理事会 2回開催

評議員会 2回開催

職 員 認定こども園螢池文化幼稚園 31名（非常勤含む）

いずみ保育園 21名（非常勤含む）

あっぷるこども園 14名（非常勤含む）

2. 事業報告

《 螢池文化幼稚園 》

昭和4年、自宅を開放し、出口幼稚園として開園。昭和23年、財団法人螢池文化幼稚園として大阪府知事より認可。昭和57年、学校法人螢池学園として設立認可。（財団法人螢池文化幼稚園から学校法人へ設置主体変更認可）平成27年、こども・子育て新制度にそった幼稚園型認定こども園として認可。

昭和4年度～昭和47年度まで園長 野中とえ、昭和48年度～令和1年度まで園長 泉潔、令和2年度より園長 泉恒。

〈教育方針〉

よく考えみずから行動できる子

きまりの守れる心のやさしい子

美しくあたたかい心を持った子

明るくのびのびとした元気な子

〈教育内容〉

当園では、道徳心・正義感・思いやり・感謝の心・探究心を育み、次代を担う人間を育てます。体験を通じた学び、また、その学ぶ過程を重要視し、創造力や共感力、自己解決能力などを含めた「生きる力」を高め、自ら学び行動する子になる基礎作りとしての教育・保育を行います。また、保育教諭の他に体操やスイミングの専任講師による指導で園児の健康および体力増進、ネイティブの英語講師による英語あそびや外国の幼児施設との交流などで国際感覚を育てています。

年長児は SI あそび（知能教育）を取り入れている他、地域のお年寄りや小学校との交流も増やし、温かい心を育て、小1プロブレムなどの無いように、小学校へのスムーズな接続を目指しています。

〈運営方針〉

本園は、学校教育法第22条及び第23条に基づき幼児を保育し、適当な環境を与えて、その心身の発達を助長するとともに、就学前の子供に関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第3条の認定を受けた幼稚園型認定こども園として、小学校就学前の子どもに対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を行うことを目的とする。

〈園児数の推移〉

	3歳児(満3歳児含む)		4歳児			5歳児			クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数(1号/2号認定児)	クラス数	園児数(1号/2号認定児)		クラス数	園児数(1号/2号認定児)			
認可定員	3	70	3	70		3	70		9	210
令和3年度	3	43	3	40	24	3	36	28	9	195
令和4年度	3	38	3	31	28	3	35	28	9	186
令和5年度	3	38	2	23	27	3	32	28	8	177
令和6年度	4	67	3	38	31	2	22	28	9	202

※全国的な少子化の流れにより、1号認定児の入園が豊中市内の幼稚園・こども園で全面的に激減しており、クラス数を減らしているなか、本園では保育の質向上および情報の共有やICT化を進めたことにより、口コミなどで入園者数が増えている。また満3歳児クラスを新たに創設したことで、未就園児クラスからの満3歳入園児の受け入れも含め、上向きの傾向が見られる。

〈2歳未就園児クラス（バンビクラス）〉

令和5年度（月～金 5クラス） 39名（前年比+8）

〈教育・保育時間〉

- ・ 1号認定児 月・火・木・金曜日 午前8時～午後 2時30分
水・第3土曜日 午前8時～午前11時30分
- ・ 2号認定児 月・火・水・木・金・土曜日 午前7時～午後6時

〈納付金〉

- ・ 保育料 園児の居住する市町村が定める額の基本保育料を保護者から徴収する。
(給食費は週3回 園負担により保護者の徴収なし)

〈入園時の費用〉

- ・ 入園準備金 30,000円
- ・ 施設協力費 60,000円 (20,000円/年×3回、各年度の4月引落し/兄妹同時在園時半額)
- ・ 検定料 1,000円

〈預かり保育の時間及び費用〉

- ・ 月～金曜日の午後保育日 15:00～18:00 〈3時間〉 450円
- ・ 水曜日及び午前保育日 12:00～18:00 〈6時間〉 900円

- ・春・夏・冬休み期間 8:00~18:00 (10時間) 1日 1,500円
- ・早朝保育午前7時~、延長保育~午後7時まで (1時間 150円/2号認定児は 200円)

〈行事実施状況〉

※令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5月8日から「5類感染症」になり、全ての教育・保育活動を通常どおり行うことができた。

また、保護者向け説明会・保護者会の集会等では、3年前より動画での配信をおこなっているが、感染防止対策ではなくなったが、お仕事や小さなお子さんがおり、集まることのできない保護者の皆様にとっても好評なため、継続して作成し共有している。

毎月▷ お誕生会/園舎・園庭開放おあそびかい

毎学期▷ 園外保育/保護者会活動 (動画配信含)

毎週▷ スイミング指導/英語指導/体操指導

4月▷ 入園式/家庭訪問/園児対面式/クラス懇談会

5月▷ れんげ摘み (園外保育) /ファミリー (母親) 参観/食育セミナー・給食参観・給食試食会/春の遠足/避難訓練+園児引き渡し訓練

6月▷ ファミリー (父親) 参観/年長クッキング/プラネタリウム見学/内科・歯科・眼科・耳鼻科検診

7月▷ プール・どろんこあそび/個人懇談/年長キャンプ/夏期保育①

8月▷ 夏期保育②

9月▷ 入園説明会 (希望者に動画配信) /敬老演芸会出演 (年中)

10月▷ 運動会 (通常通り蛭池小学校にて全園児で開催) /祖父母参観 (引き続き3日間に分散して開催) /ぶんかカーニバル (通常通り全園児で開催)

11月▷ いも掘り/おいもパーティー/秋の遠足

12月▷ 作品展 (引き続き3日間に分散して開催) /おもちつき/クリスマス会 (通常通り全園児で開催)

1月▷ とんど焼き/英語あそび参観 (自由参観) /大阪空港雪まつり/ふれあいサロン訪問 (中止)

2月▷ 節分豆まき/こま回し大会/ぶんか発表会/個人懇談

3月▷ 新入園児1日入園/全園児お別れ会 (通常通り全園児で開催) /お別れ遠足/卒園式 (通常通り全園児で開催)

〈施設関係〉

園地面積 1,733㎡ 運動場面積 1,090㎡

〈設備関係〉

消防設備およびエレベーターの保守・点検を実施。各クラスに導入したiPadとiPod touch、スマートテレビを国際交流や職員間の連絡、保護者との情報共有にさらに活用中である。また登降園管理やスクールバスの降ろし忘れ警報装置も活用して園児の安全に役立てている。

〈令和5年度事業報告〉

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5月8日から「5類感染症」になり、全ての教育・保育活動を通常どおり行うことができた。

認定こども園として1号認定児の預かり保育や保育の必要な2号認定児の保育のため、月曜日から土曜日まで朝7時より夜7時まで12時間開園し、働いている保護者の子育て支援も充実させている。

保育の内容に関しては、知識を増やすよりも、あきらめず粘り強く努力したり、皆と協力して何かをやり遂げる「非認知的能力の獲得」重視の保育を引き続き進め、そのような「目に見えない成長」を保護者に伝えるため、ブログやポートフォリオ（個人発達記録）作成による保育の「見える化」を進め、個々の園児の発達を保護者と共有し、園と家族が手を取り合って子育てできる園を引き続き目指していく。

3年前より大阪府のICT補助金を活用した、保護者と園との双方向連絡、及びペーパーレスでお便りを送れたり、GPSでのバス位置確認、行事中止・延期の連絡やお便りの配布、参加者アンケートなどができる「**コドモン**」ICTシステムを、引き続き便利に活用しており、保護者・職員ともに好評である。

また、各クラスに1台ずつ導入したiPadとiPod touch、65インチのスマートテレビを活用し、**海外の保育施設とのリモート交流や動画・写真による保育状況の共有や保育活動に動画視聴や検索などを加えている。**加えて保護者と保育内容の共有を進めるため、ビデオ製作会社と連携し、毎月の**普段の保育の様子を短い動画にして配信**しており、保護者の皆様にとっても好評である。新しく契約した写真販売会社では、プロの写真屋さんだけでなく**普段の保育の様子を職員が撮影し、情報共有をする**とともに販売も始め、少しずつ各種諸経費を捻出し、保護者にも好評である。

施設管理面ではIDカードによるセキュリティ、セコムによる24時間セキュリティおよび防犯カメラ9台による安全確認等も引き続き継続するとともに、保育園などでの幼児死亡事故などを受け、昨年度より**ICTによる登降園管理とスクールバスの降ろし忘れ警報装置**を備えた。用品販売や預かり保育利用料の決済には、すでにクレジットカードやバーコード決済利用によるキャッシュレス化も始めており、より安全・安心で便利な保育環境の向上に努めている。

これら園全体のICTを含めた質の向上により、真に地域子どもたちや保護者のための幼稚園作りを進め、少子化の中でも選ばれる園となり、永続的に安定した運営を続けていきたい。

あと5年で100周年を迎える**蛍池文化幼稚園の100周年事業**として、令和6年度より数年かけて、保育室の増室や職員の就労環境向上のため、現園舎の内装リフォームおよび園舎の外装リフォーム、園庭の緑化を含めた**園の大規模リフォームを実施**する。

《いずみ保育園》

別紙（令和5年度いずみ保育園事業報告書）

《あっぷるこども園》

別紙（令和5年度あっぷるこども園事業報告書）

3. 財務状況

財務面では、事業活動収支計算書を見ると、①教育活動収入計が前年比5%（21,885千円）の増収、②教育活動支出計は5.8%（24,305千円）の増加となった。

③教育活動収支差額はプラス15,467千円、これに受取利息・配当金を加えた④経常収支差額は17,717千円となり、前年度（20,509千円）より減少し、経常収支差額比率は3.8%となった。

※経常収支差額比率とは、帰属収入から消費支出を差し引いた帰属収支差額の帰属収入に対する割合である。この比率がプラスで大きくなるほど自己資金は充実されていることとなり、経営に余裕があるものとみなすことができる。

収入面では、⑤施設型給付費が前年に比べて10,956千円増加、⑥経常費等補助金は13,545千円増加となった。

支出面では、⑦人件費が6.5%（17,821千円）増加し、⑧教育研究費は1.5%（635千円）減少し、⑨管理経費は前年度比で7.1%（11,932千円）増加した。

（経費項目で主に増減しているもの）

教育研究経費

- ・光熱水費 前年比 323千円減少
- ・修繕費 前年比 311千円減少
- ・保健衛生費 前年比 690千円減少
- ・減価償却費 前年比 543千円増加

管理経費

- ・光熱水費 前年比1,465千円減少
- ・賃借料 前年比3,283千円増加
- ・報酬手数料 前年比3,018千円増加

⑩次年度繰越資金は31,107千円増加し、284,083千円となった。また、⑪その他特定資産として703,078千円、⑫金融資産として有価証券217,191千円と保険積立金82,550千円を有している。

資料：別紙（令和5年度 計算書類）